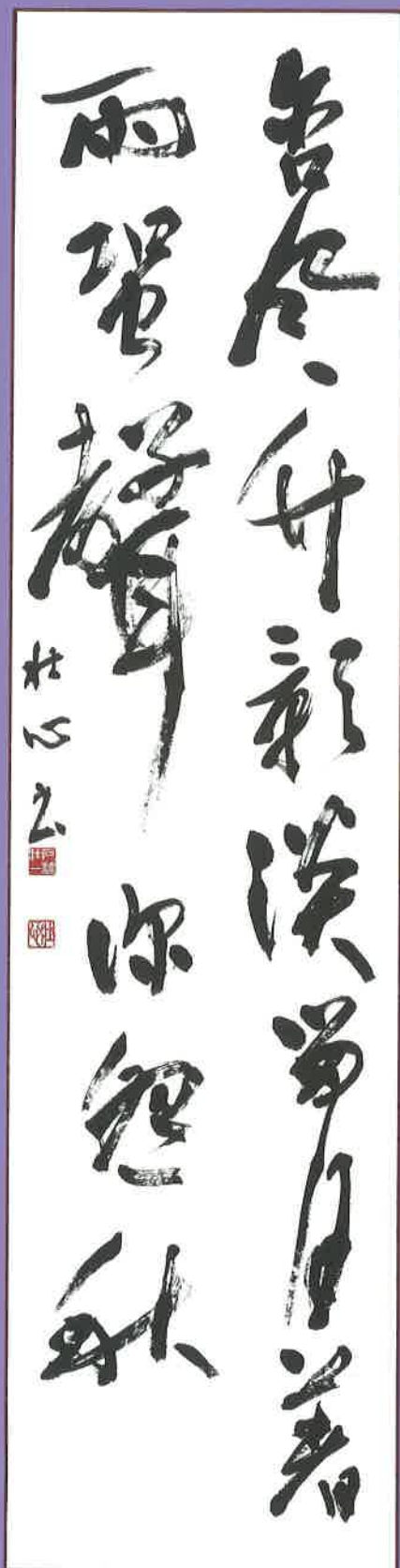




2022 秋号 Vol.99

- 「きらめき対談」クロヌリハイク
- 秋彩る「松山市民文化祭」開催
- 松山の歴史（その三）
- 子規交交 第三回



(表紙写真) 松山市民文化祭第41回美術展市長賞受賞  
「范成大句」(書部門)石橋 壯一(壯心)

# 新聞記事から 生まれる俳句のアート

## きらめき対談

ゲスト:クロヌリハイク作家 黒田 マキさん

コーディネーター:一色 美和さん (本誌編集委員)

クロヌリハイクをご存知ですか。クロヌリハイクは、新聞紙面をぬりつぶし、浮かび上がらせた文字をつなげて俳句に仕立てるアート作品です。新聞と黒マジックさえあれば楽しめる愛媛発祥のクロヌリハイクの世界、考案者の黒田マキさんにお話を伺いました。



本誌編集委員  
一色 美和さん

松山市の俳句月刊誌「100年俳句計画」(マルコボ・コム刊、キム・チャンヒ編集長)にクロヌリハイクの連載がスタートしたのが、2013年。以来、黒田マキさん(本名 杉本恭さん)は毎月、クロヌリハイクの新作を発表し続けています。

一色 どういう経緯でクロヌリハイクなるものが誕生したのですか？  
黒田 もともと実家が愛媛新聞の販売店を経営していて、家業を継いだんです。デジタル化が加速するなか、紙媒体で新聞を読む人が減っている現実を目の当たりにしました。そこでアナログの紙の面白さを伝えたいと思って、子供たちが新聞で遊べる機会を作れないかと思案していたんです。例えば、新聞に掲載されているイラストや写真に落書きしちゃう



▲感情をさらけ出せ 18の冬  
(2021年10月12日付 愛媛新聞より)

とか、新聞で雪合戦をしようとかね。これはチーム対抗でそれぞれ一部だけ新聞を渡し、いかにして勝つかを考えてもらう遊びです。例えばカチカチに固めて一玉にすべてをかけて投げるチームもあれば、ふわっと丸めた玉をいくつも作って投げるチームもある、子供たちの自由な発想で遊んでもらう、そこから新聞に親しんでもらえればと色々やりました。



▲秋の旅 至れり尽くせりの接待  
(2021年9月8日付 愛媛新聞より)



▲黒田さんの句集  
『クロヌリハイク』(マルコボ、コム発行)

そんなとき、本屋さんで、ある一冊の本を見つけました。「クリエイティブの授業」という本です。開いてみると、新聞の紙面を黒ぬりにし、文字を拾って、哲学的なフレーズや詩にしていこうというアメリカのアーティストの作品集でした。それを見た時、日本の新聞でも出来るんじゃないか、これを松山でやるんだったら俳句だけに俳句だよなとひらめきました。

ちょうどその頃、子供のPTAの集まり「椿小おやじの会」で、松山市の出版社、マルコボ・コムのキム・チャンヒさんと出会い、雑誌に連載



▲秋の虫 恋って何だ と思います  
(2021年11月14日付 愛媛新聞より)



いました。ひとつは俳句をなめてんのか、という俳句の世界からのお叱り、もうひとつは新聞社からのお叱りです。

一色 確かに新聞記者は綿密に取材をして書きあげた記事が黒ぬりされることに抵抗を感じるかもしれないですね。

黒田 はい。でも新聞社も逆に面白がってくれて、コンテストを開こうという流れになったんです。2018年からスタートした「クロヌリハイクコンテスト」、第5回の今年は全国各地から約800点の作品が寄せられました。

一色 その反響を黒田さんはどう受け止めていきますか？

黒田 正直、クロヌリハイクという新聞を使った遊びがこんなに浸透するとは思っていなかったです。サブカルチャーだったのに、今では学校に呼ばれてワークショップを開いたり、先生たちの研修会に呼ばれてレクチャーすることもあります。NIEという新聞を学校教育に取り入れよう



▲黒田マキさん。黒のベレー帽に黒縁のメガネが定番のスタイル



▲黒田マキさんと一色さん

という動きのなかで、クロヌリハイクがひとつの手法として支持してもらえているのかと思います。

あとは婚活イベントのなかで、男女それぞれクロヌリハイクを作り、気に入った作品に投票するという試みもしました。コミュニケーションのひとつの手法というか、お互いを知るきっかけにしてもらえたようです。

一色 クロヌリハイクのどんなところに

みんな惹きつけられるんでしょう？  
黒田 新聞記事に隠された俳句を見つけて出すことから、その面白さを発掘とか彫刻と例えた人もいます。

学校でワークショップをしていて思うのは、クロヌリハイクだと子供たちが俳句を作りやすいようです。何もないところからさあ俳句を作り

ましようとなると自分の感性や心をさらけ出すことになるし、出来上がったものに対してどういう評価を受けるかも気になりますよね。でもクロヌリなら、そこに言葉があったから、それをつなげたんだと説明できるわけで、俳句を作ることに抵抗感がなくなるようです。結果的には紙面に並ぶたくさんの情報から季語を選び、気に入ったフレーズをつなげていくプロセスにその人らしさが表れるので、それも魅力ですよね。

強面の男性がとてもロマンチックなクロヌリハイクを作って驚かされたこともあります(笑)

また普段は無口でおとなしい生徒がいきいきと創作している様子を見て、学校の先生がとても喜んで下さったこともあります。出来上がった俳句をほめる、塗り方をほめる、切り方をほめる、いくつもほめるポイントがあるのも教育効果につながっているように思います。

一色 結果的に新聞の売り上げアップにはつながりましたか？

黒田 それはどうでしょう(笑) なかにはクロヌリハイクを作るために新聞を取り始めてくれた人もいますが、なんだか読み方が変わるそうです。クロヌリハイク目線で、季語や俳句に使えそうな言葉を見つけてることに



◀伊予市で開かれたワークショップの様

意識が向いちゃうと聞きます。  
一色 新聞というツールを加工することで新しい価値、世界を創造したんですね。  
今後はどう広がっていきたいですか。

黒田 理想は喫茶店でふと横を見たらおじさんが黒マジックを持って新聞をぬりつぶしていた、そんな日常がくると良いなと思っています。  
あとはクロヌリハイクの次の世代を育てたいですね。

# かがり火のもと 幽玄の能楽堪能

『第29回二之丸薪能』

5月17日（火）、松山城二之丸史跡庭園内特設能舞台で「第29回二之丸薪能」を開催しました。

（公社）愛媛能楽協会（土居英雄会長）の皆様による舞囃子「紅葉狩（もみじがり）」、「安宅（あたか）」、狂言「素袍落（すおうおとし）」、舞囃子「敦盛（あつもり）」、能「羽衣（はごろも）」が上演されました。松山城の石垣を背景に、かがり火とライトに照らし出された会場には、約280人の能楽愛好者が集い、日本が世界に誇る伝統芸能の能楽を堪能しました。



▲『二之丸薪能』のようす

# 春季生活文化部 展示会開催

鑑賞する人の目や心楽しませる

色鮮やかな洋蘭展示

5月7日（土）と8日（日）の二日間、松山市総合コミュニティセンター展示室1で、松山市文化協会に所属する「愛媛洋蘭会」の皆さんが丹精込めて育てた、色鮮やかな洋蘭を152点展示しました。



▶『春季生活文化部展示会』のようす

# 小学生俳句教室

楽しいのびのび俳句を学ぼう

8月3日（水）に松山市総合コミュニティセンターで、小学生を対象とした「小学生俳句教室」を開催しました。「松山俳句協会」の協力により3名の講師を迎え、俳句の基礎を学び、その場で感じたこと思ったことを俳句にし、楽しくのびのびとした句がたくさん出来ました。お友達の俳句を聞いたり、作った俳句を選んでもらうこととても嬉しそうにっていました。



▲『小学生俳句教室』のようす

# 秋彩る「松山市民文化祭」開催

## 第41回美術展

今回も多くの力作が出品された「美術展」は、洋画44点、日本画22点、版画10点、書194点、工芸24点、写真30点、彫塑1点、デザイン2点、総数327点から、特別賞である「市長賞」、「市議会議長賞」、「教育長賞」、「文化協会長賞」の4点、そして特選30点の受賞作品が選ばれました。

会期初日の「観賞会」は開催縮小のためごさいませんが、受賞作品には審査員の先生方のコメントを展示しております。ぜひ、地元美術愛好家のみなさんの力作をご覧ください。

「会場」松山市総合コミュニティセンター

企画展示ホール（入場無料）  
 「会期」9月30日（金）～10月4日（火）9時～18時  
 初日は、開展式（10時～11時頃）終了後入場  
 10月3日（月）は休館。最終日は16時に閉展

### 〈市議会議長賞〉



「乙女の祈り」（写真部門）  
三瀬 清人

◎市議会議長賞受賞 三瀬 清人さんの声  
 この作品は、熊本県の菊池渓谷で撮影したものです。前日から大雨が降っていたのですが、撮影直前に晴れ間が出て、朝日が差し込んできました。偶然が味方してくれました。この一瞬の光と影をと思い、何枚もシャッターを切りました。今後は清々しさや、しゃれた雰囲気も表現していきたいと思っています。

### 〈教育長賞〉



「実りの秋」（洋画部門）  
中村 トヨ子

◎教育長賞受賞 中村 トヨ子さんの声  
 こんなに素晴らしい賞をいただいて、本当にうれしく思っています。先生について絵を教わって25年になります。毎週2回教室に通っています。お友達と顔を合わせるのが楽しみです。今後とも、身近な自然の温かさや、優しさを題材に絵を描いていきたいものです。

### 〈文化協会長賞〉



「松風」（日本画部門）  
渡部 千津子

◎文化協会長賞受賞 渡部 千津子さんの声  
 初めての受賞です。たいへんありがたうございます。この絵はたまたま出会った、松の古木の姿が印象に残り作品になりました。日本画を始めて、6、7年くらいになります。毎週1回教室に通って勉強しています。これからも自分がいなと思った題材を描いていきたいと思っています。

### 〈市長賞〉 「范成大句」（書部門）石橋 壯一（壯心）



◎市長賞受賞 石橋 壯一（壯心）さんの声  
 市長賞受賞とは思いませんでしたので、とても驚きました。作品は中国の范成大の秋の句を題材にしたものです。着想から完成まで1カ月ほどかかりました。書道には小学生のころから親しんできました。今後は今やっていることを、さらにつきつめて励んでいきたいと考えています。



# 【松山の歴史】

(その三)

## 松山の歴史地名一

—昭和一五年の「松山町名考」から—

伊予史談会副会長

柚山俊夫

柚山先生のプロフィール

柚山 俊夫(ゆやまとしお)

●一九六一年今治市菊間町生まれ  
●愛媛大学を卒業、県立高校や県生涯学習センターでの勤務のち定年退職、現在は県立図書館で文書目録作成に従事。

松山市内の地名について調べるとき、とても役に立つのが平凡社(一九八〇年)『愛媛県の地名』と角川書店(一九八一年)『角川地名大辞典38愛媛県(愛媛県地名大辞典)』です。それぞれ詳しい説明があり、地元の歴史文化を深く知ることができ、現在の町名の多くは、江戸時代の松山城下町の町やその周辺の村の名に由来することが分かります。

さて、愛媛新聞の前身にあたる海南新聞に、昭和一五(一九四〇)年一月から一二月にかけて、「松山町名考」という随筆が二回にわたり連載されました。筆者は田中蛙堂です。田中蛙堂は田中七三郎の雅号で、『愛媛県大百科事典』(一九八五年)によれば、一八七六年旧松山藩士の家に生まれ、一九五五年逝去、海南新聞記者を経て松山市会議員。伊予史談会や松山子規会の役員も務めています。松山生まれで地元のことについて詳しい田中蛙堂の随筆から、今回は、松山旧市街の東部に関する記事を紹介します。

### 昭和町

松山城の東北、伊予鉄電車上一万駅の東にある昭和町は、昭和五(一九三〇)年に設定された町名です。もともと道後村の土地でしたが、大正時代の終わりごろから市街地化が始まりました。町名設定の際、第一候補は、東に

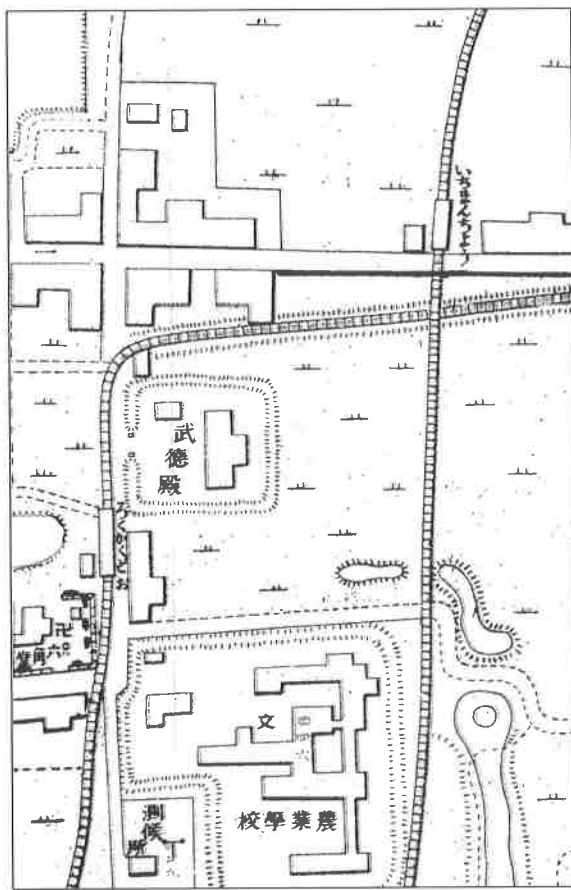
ある南町から東西に延びる水路の中井手から「中井手町」、第二候補は、宇佐八幡社あたりの地名を宇佐田というので「宇佐田町」、第三候補は、田地をつぶして宅地にしたから農業を重んずる意味において「瑞穂町」などもあったそうです。結局、昭和年間になってきた町ということ象徴し、年号と同名なら記憶しやすいので、昭和五年当時、町総代であった田中蛙堂が役員と相談の上、昭和町と命名しました。

### 上一万

上一万の伊予鉄道停車場名について、田中蛙堂は次のように述べています。(伊予鉄道の)停留所の名が上一万駅だから其の附近及び東一万町を上一万町と称する町のやうに思つて居る人が多いが、上一万といふ町名はないのである、アノ停留所名は単に一万駅であつたのを旅の人が一番町と一万とを聞きちがへることが多いからとの理由で「上」の字を冠することになった。

現在も、東一万町や中一万町、西一万町はあっても、上一万町はありません。なぜ停車場名を上一万と呼ぶのか、それは、一万停車場の名が一番町と似ていて、聞き違えるので上一万と改称したというのです。どういうことでしょうか。

一万停車場は、大正一(一九一三)年三月二五日に、伊予鉄道(松山電気軌



▲大正2年12月発行「松山市全図」  
南北に延びるのが伊予鉄道(旧道後鉄道)、  
逆L字の線路は松山電気軌道。

道ではない)によって設置されました

(大正二年六月五日付け官報)。一万から上一万へ改称したのは昭和四(一九二九)年四月一日です(『伊予鉄道百年史』)。

一方、一万停車場を「いちまんちよう」と記した、「松山市街図」(大正二年)があります。大正一四年の「松山市街地図」(国際日本文化研究センターデータベース)にも「一万町」とあります。大正時代、一万停車場のことを「二万町」とも呼んでいたのです。そうすると、「一万町」と「一番町」を聞き違えるというのが納得できるでしょう。

### 御宝町と玉川町

愛媛銀行本店の南側、松山商業高校の北側に御宝町があります。玉川町は、御宝町の南側に昭和二九(一九六四)年までありましたが、現在は勝山町・一番町・二番町に分割されていて、町名がありません。明治時代の松山市街図を見ると、御宝町・玉川町ともに、現在の大道(当時は小唐人町)のすぐ東側から松山商業高校あたりまで細長く伸びる町で、東西の長さはおよそ五〇メートルありました。

田中蛙堂によれば、御宝町や玉川町の地名は伊佐庭如矢が命名したもので、



## 「松山の歴史」

幕末までは、御宝町のあたりは「百姓町」や「専念寺町」と称していたと書かれています。続いて、田中蛙堂は次のように述べています。

明治初年、当時の博識家と称せられてゐた伊佐庭如矢翁に名付け親となつてもらつて、此附近一帯の無名ケ処に町名を付けて貰つた際「農は御国の宝」と云ふ建前前から御宝町と命名し、其南隣を宝の縁語からとつて玉川町と名づけた。

ところで、冒頭で紹介した地名辞典二種には、御宝町は小唐人東水呑町が、玉川町は小唐人南片原町が、それぞれ宝永四（一七〇七）年以前に改称したと記しており、田中蛙堂のいう明治初年の命名とはしていません。

そこで、嘉永年間（一八四八〜一八五四）とされる「松山城下町嘉永図」（松山市史料集付図）と万延元（一八六〇）年の「御上鋼町方鋼橋図（御城下大絵図）」を見てみました。この一帯の地名として、嘉永の絵図には「百姓町」「円蔵寺町」「正法寺町」の名があります。万延の絵図には「小唐人東水呑町」「持田村水呑町」があります。ほかの絵図にも、御宝町や玉川町の町名は見当たりません。そうすると、御宝町や玉川町のあたりは、宝永年間ごろにはまだ町場になつておらず、持田村分の田畑であつたと考えたほうがよさそうです。一方、明治五（一八七二）年三月作成の寺院明細帳（愛媛県立図書館蔵）には、御宝町や玉川町の名があります。田中蛙堂がいうように、明治初年（明治五年三月まで）に、伊

佐庭如矢によつて町名が付けられたものと考えられます。地名辞典二種が改称の根拠とした「松山町鑑」は、「明治三年の書き入れもある」（伊予史談会双書本巻頭）史料で、江戸後期に編集され、それ以後に注記と追記が重ねられており、どの部分がいつ書き込まれたかが不明で、史料の価値に疑問が生じます。他の史料や絵図類と合わせて検討する必要があります。

このように、二〇世紀までの調査研究により町名の通説としてまとめられた地名事典の記述も、新資料の発掘やデジタル化など時代の進展とともに、新しい解釈が可能になってきました。さまざまな資料・史料から、読み解きし直す必要があります。

なお、今回紹介した田中蛙堂の随筆「松山町名考」の新聞切抜きを小冊子にまとめました。愛媛県立図書館四階えひめ資料室で閲覧することができます。次回は、番町や千舟町など、松山旧市街南部を中心に述べたいと思います。



▶ 伊佐庭如矢翁像  
道後温泉本館北にある。

 伊予銀行

銀行を、  
人に合うかたちへ  
変えていく。

Better Money,  
Better Life.

AGENT

HOME

SAFETY

LIFE  
PALETTE



# 秋季生活文化部展示会

文化協会の生活文化部に所属する団体が、丹精込めて育てた、つばき・バラや水石・帯結び・拓本を展示します。美しい作品の数々をぜひご覧ください。

【日程】

11月5日(土)・6日(日)

【会場】

松山市総合コミュニティセンター コミュニティプラザ

【入場料】 無料

【協力】

松山つばき会・愛媛バラ会・八石之会・公益社団法人全日本きものコンサルタント協会愛媛県・伊予拓本研究会・公益財団法人松山市文化スポーツ振興財団



▲昨年の展示会風景▼



## 松山市文化協会理事会・総会

5月20日(金)、松山市総合コミュニティセンターにおいて、令和4年度の松山市文化協会理事会・総会を開催しました。総会では、令和3年度の事業報告等について審議を行いました。すべての議案を原案通り承認、または可決いたしました。

### ◎松山市文化協会の会員になりませんか

松山市文化協会は、松山市内で活動する各分野の文化団体等の連携や新たな文化の創造を図ることを目的に、市民文化祭や会員主催事業の後援など、各種文化事業を実施しています。多くの文化団体のご入会をお待ちしております。また、協会の目的に賛同、後援いただく賛助会員もあわせて募集しています。お気軽にお問い合わせください。

### ◎本誌へご意見をお寄せください

本誌に掲載している内容について、ご意見をファクス、お手紙、メールでお寄せください。

〒790-0012

松山市湊町七丁目5番地

松山市総合コミュニティセンター内

松山市文化協会事務局

☎089(909)8008 FAX 089(921)8242

✉ = matsu-bunkyo@cul-spo.or.jp

### 漱石先生も釣りしたのかな…

夏目漱石の小説『坊っちゃん』の中に釣りのシーンが描かれています。場所はこの四十島沖のような気がします。

釣るサイト  
釣るサイト

釣りちょーさん 検索  
<http://tyo-san.co.jp>



▲松山市高浜沖に浮かぶ四十島

# 子規交 ーしきこもごもー

## ◎第三回 「子規文庫蔵」のいまむかし

坂の上の雲ミュージアム学芸員／子規庵宇宙の会会員

上田 一樹

今回は、子規の時代から令和へと続く話題として、東京根岸「子規庵」の「子規文庫蔵」(以下、文庫蔵)について少しお伝えしたい。

文庫蔵とは、子規庵の敷地内にある三坪程の土蔵のことである。子規の遺品や遺稿を保管する目的で、昭和二(一九二七)年に建築された。子規の母八重は文庫蔵の完成二ヶ月前に病没していたが、妹の律は健在であった。文庫蔵は奇跡的に太平洋戦争の戦火を免れたが、老朽化が進んだため近年修復され、令和四年三月に工事が完了した。

文庫蔵の歴史は、子規庵保存のそれと密接な関わりがある。明治三十五(一九〇二)年に子規が亡くなった後、子規庵には八重と律が居住し、門人たちが句会や歌会を催すなど、変わらず文学サロンとして在り続けていた。

そのような中、子規十周年忌となる明治四十四(一九一)年、内藤鳴雪・中村不折・伊藤左千夫・五百木飄亭・坂本四方太・河東碧梧桐・高浜虚子・香取秀真・寒川鼠骨ら「子規旧友会」の面々が集い、子規庵の保存や正岡家の支援を行う方針を固めたことが、子規庵保存会発足の契機となった。昭和三年七月には財団法人子規庵保存会が文部大臣より認可され、初代会長には律が就任する。

この間、寒川鼠骨が保存会の中核を

担い、旧前田侯爵家の所有であった子規庵の土地建物の購入をはじめ、正岡家への金銭的な支援、全集の刊行、関東大震災の影響による庵の修築などが成された。これら一連の活動は、鼠骨著『子規庵要記』(二〇〇二年、六法出版社)に詳しい。

さて、文庫蔵もまた、保存会の活動における重要事項のひとつであった。元々、子規資料を保存し、後世に伝えたいと希求したのは律だったようで、実際に律が子規資料を整理した記録が残されている(子規記念博物館所蔵)。文庫蔵の建築にあたっては鼠骨をはじめとする子規門の援助があり、わけでも歌人の蔵櫃堂は、自らが所有する千葉県山武市埴谷の山林から多くの杉材を提供した。

文庫蔵は、湿気対策として大きな組板状の石材の上に建築されており、建物の基礎は鉄筋コンクリート、土蔵には漆喰を塗り、鉄扉を備え、屋根瓦が葺かれた(昭和九年、壁に亀裂を生じたため石膏に塗替)。総工費は約二八〇〇円。現在の貨幣価値で約三三〇万円であり、費用は檀堂の杉材提供のおかげで抑えられたものと思われるが、主に正岡家が全集の印税等を保存会に寄贈して捻出した。

文庫蔵が完成してから四ヶ月後の昭和二年十一月、子規庵の隣に事務所の

新築を開始、翌年に完成し、鼠骨が移住した。以来、鼠骨は子規庵と文庫蔵を守り続けたが、同二十年四月、空襲により庵が焼失。しかし、奇跡的に文庫蔵は残り、遺稿や遺品も無事であった。当時七十歳であった鼠骨は、子規庵の向かいにある中村不折の書道博物館の一隅に仮寓し、泥棒を警戒して夜中の三時ごろになると文庫蔵の見回りを行ったそうである(柴田宵曲「無始無終」(『団扇の画』所収)、二〇〇〇年、岩波書店)。

子規文庫蔵を賭し守り忌を修す鼠骨晩年の句である。文字通り「死を賭し」て子規資料を守り続けたかれの強い思いがうかがえよう。なお、焼失した子規庵は昭和二十五年に再建され、それを見届けた鼠骨もまた、同二十九年に不帰の客となった。

文庫蔵はその後、波板のトタンで壁面が補強されたが、老朽化のため平成三十年より調査及び修復工事が開始された。想定より壁や柱の劣化が激しく、計画を大幅に変更、二年以上の工事を経て完成し、無事子規の遺品類が収められている。総事業費は約三千万円。修復の詳細は、子規庵のホームページで見ることが出来る。筆者も実際に見学させていただいたが、伝統的な工法で瓦や土にもこだわり、精緻に造られた文庫蔵は実に美しく、職人の技と矜

持を垣間見ることができた。現在、コロナ禍で休庵を余儀なくされている子規庵であるが、再開の折には皆さんにもぜひ足を運んでいただきたい。大きく生まれ変わった「子規文庫蔵」は、これからも子規庵と共に在り続ける。子規やその家族、友人や門人だけでなく、保存会の活動や文庫蔵の修復に関わってきたすべての人たちの思いをのせて。



昭和2年竣工の文庫蔵。昭和40年ごろに、補強と湿気対策のため、壁を覆う形で波板トタンが貼られた。



令和4年改修の文庫蔵。柱・土壁・漆喰・瓦など、大幅な修復が施された。



上：壁面の小舞掻き  
下：屋根瓦付け

協力：一般財団法人子規庵保存会

# 坂の上の雲ミュージアムからのお知らせ

令和4年4月に開館15周年を迎えた坂の上の雲ミュージアムを、より一層楽しんでいただくための様々な情報をお伝えします。

## ■2階ライブ러리・ラウンジに

### 「安藤忠雄 建築の軌跡」コーナー新設

令和4年3月15日から、坂の上の雲ミュージアムの設計者である世界的に著名な建築家・安藤忠雄氏を紹介するコーナーを新設しました。

安藤氏の建築に対する思いなどを紹介した展示映像をはじめ、代表的な建築物の写真や関連書籍などを展示し、安藤建築の魅力を発信しています。

場所：坂の上の雲ミュージアム

2階ライブ러리・ラウンジ

時間：9時～18時30分

(入館は18時まで)

休館：毎週月曜日(休日は開館)

料金：無料



## ■開館15周年記念特別展示

### 柳生悦子「坂の上の雲」衣装原画展

開催中

柳生悦子氏は、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の衣装(軍服)考証を担当した、衣装デザイナー・軍装研究家です。特別展示では、柳生氏の原画の中から、秋山好古・真之兄弟を描いた作品を中心に展示しています。

会期：開催中(10月16日(日))

場所：坂の上の雲ミュージアム

2階ホール

料金：無料



お問い合わせ 089(915)2601  
※新型コロナウイルスの感染状況により、臨時休館の場合があります

ぜひフォローをお願いします!!



公式  
Instagram  
QRコード

世界一強い  
ボクサーになる

将棋の魅力  
沢山の人の  
広めたい!!

日本代表に  
選ばれる!!

世界一になる!

観客に  
感動を与えられる  
踊り手に

ひめぎんは、  
ゆめぎん。

みんなの夢を応援します。